



各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田辺 順一
(JASDAQ・コード 6625)
問合せ先
役 職・氏 名 取締役管理本部長 大浦 隆文
電 話 050-5536-9824

(再訂正) 「平成 25 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の一部再訂正について

平成 26 年 6 月 12 日付で公表いたしました(訂正・数値データ訂正)「平成 25 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の記載内容の一部に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、平成 26 年 6 月 30 日付で関東財務局へ提出しております、有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書には、訂正はございません。

訂正箇所には下線__ を付して表示しております。

記

1. 【訂正理由】

当社の子会社である株式会社ジャルコアミュージックサービスが、平成 24 年 1 月から開始した中古遊技機割賦販売事業において取引先による不正が発覚したために、取引開始から発覚までに行った取引の会計処理を取消しました。

当初は、セグメント名は変更せずに訂正決算短信をご提出しましたが、以上のことを鑑み、会計処理の実態に合わせるためにセグメントの名称を「遊技機レンタル・割賦販売事業」から「遊技機レンタル事業」に変更することが必要であるとの判断から名称変更をしたことに伴い、関連する箇所を訂正するものであります。

2. 【訂正箇所】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(次期の見通し)

(2) 財政状態に関する分析

①資産・負債・純資産の状況

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(4) 事業等のリスク

②当社グループの事業戦略、事業活動に関するリスク

a. 新規事業に伴うリスク

c. 債権が貸倒れとなるリスク

2. 企業集団の状況

3. 経営方針

(3) 中長期的な会社の経営戦略

4. 連結財務諸表

(連結貸借対照表関係)

1. 有形固定資産減価償却累計額

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

1. 経営成績・財政状態に関する分析

<訂正前>

(1) 経営成績に関する分析

(省略)

このような事業環境の下、当社は、当社連結子会社である株式会社ジャルコアミュージックサービス（以下、「JAS」といいます。）が営む遊技機レンタル・割賦販売事業を当社グループの主要事業と位置付け、一層の強化、拡大を図る一方で、連結子会社である株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）が営む電子機器用部品事業の合理化を推進し、経営資源を効率的に活用するため、グループ全体における事業の取捨選択を行い、コスト削減のため人員・設備全般において合理化を図ってまいりました。

遊技機レンタル・割賦販売事業におきましては、販売会社との連携による中古遊技機の販売に加えて、当第2四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど、当社を通しての当該事業に対する資金投下、取引形態の多様化も順調に推移しており、今後一段の収益増大を見込んでおります。

(省略)

セグメントにつきましては、当社グループの事業は、平成24年1月に遊技機レンタル・割賦販売事業を新たに開始し、従来の電子機器用部品事業に加え2業態となりました。

(省略)

従いまして、当連結会計年度より、報告セグメントを、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル・割賦販売事業」の2つの事業の種類別セグメントといたしました。このため、前連結会計年度との比較にかかる記載はしていません。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(省略)

・遊技機レンタル・割賦販売事業

遊技機レンタル・割賦販売事業におきましては、販売会社との連携による中古遊技機の販売を中心に事業を運営しておりますが、当第2四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど取引形態の多様化を実現するとともに、取扱高、事業規模の拡大に取り組んでおります。当連結累計会計年度における業績は、売上高2億98百万円、セグメント利益52百万円となりました。

(次期の見通し)

(省略)

具体的には、引き続き、JASにおける遊技機レンタル・割賦販売事業をグループ事業の中核として、事業規模の拡大に重点的に取り組んでまいります。ジャルコにおきましても、長年に渡って培ってきたメーカーとしてのノウハウを活用し、パチンコ・パチスロ機を除くパチンコホール向け設備の販売・設置を行う事業を推進するだけでなく、資金調達、不動産のオフバランス化などパチンコホールが抱える様々なニーズへの対応を可能とすることで事業分野の拡大、収益力の増強を図ってまいります（事業分野拡大の一環として、平成25年2月28日付にて貸金業登録（東京都知事（1）第31472号）を完了しております。）

<訂正後>

(1) 経営成績に関する分析

(省略)

このような事業環境の下、当社は、当社連結子会社である株式会社ジャルコアミュージックサービス（以下、「JAS」といいます。）が営む遊技機レンタル事業を当社グループの主要事業と位置付け、一層の強化、拡大を図る一方で、連結子会社である株式会社ジャルコ（以下、「ジャルコ」といいます。）が営む電子機器用部品事業の合理化を推進し、経営資源を効率的に活用するため、グループ全体における事業の取捨選択を行い、コスト削減のため人員・設備全般において合理化を図ってまいりました。

遊技機レンタル事業におきましては、当第2四半期連結会計年度において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど、当社を通しての当該事業に対する資金投下、取引形態の多様化も順調に推移しており、今後一段の収益増大を見込んでおります。

(省略)

セグメントにつきましては、当社グループの事業は、平成24年1月に遊技機レンタル事業を新たに開始することを決定し、従来の電子機器用部品事業に加え2業態となりました。

(省略)

従いまして、当連結会計年度より、報告セグメントを、「電子機器用部品事業」、「遊技機レンタル事業」の2つの事業の種類別セグメントといたしました。このため、前連結会計年度との比較にかかる記載はしてありま

せん。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(省略)

・遊技機レンタル事業

遊技機レンタル事業におきましては、当第2四半期において、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど事業規模の拡大に取り組んでおります。当連結累計会計年度における業績は、売上高2億98百万円、セグメント利益52百万円となりました。

(次期の見通し)

(省略)

具体的には、引き続き、JASにおける遊技機レンタル事業をグループ事業の中核として、事業規模の拡大に重点的に取り組んでまいります。ジャルコにおきましても、長年に渡って培ってきたメーカーとしてのノウハウを活用し、パチンコ・パチスロ機を除くパチンコホール向け設備の販売・設置を行う事業を推進するだけでなく、資金調達、不動産のオフバランス化などパチンコホールが抱える様々なニーズへの対応を可能とすることで事業分野の拡大、収益力の増強を図ってまいります(事業分野拡大の一環として、平成25年2月28日付にて貸金業登録(東京都知事(1)第31472号)を完了しております。)

3 ページ

<訂正前>

(2) 財政状態に関する分析

①資産・負債・純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比較して3億20百万円増加して16億22百万円となりました。これは主に、電子機器用部品事業の事業譲渡に伴い仕掛品41百万円、原材料89百万円、機械装置91百万円、工具器具備品66百万円が各々減少したことに加えて、現金及び預金が1億48百万円減少したことに対して、遊技機レンタル・割賦販売事業における仮払金4億14百万円、レンタル用資産4億94百万円が各々増加したことに加えて、電子機器用部品事業の事業譲渡における譲渡代金にかかる未収入金90百万円が増加したことなどによるものであります。

当連結会計年度末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して5億74百万円減少して4億29百万円となりました。

これは主に、遊技機レンタル・割賦販売事業におけるレンタル代金にかかる前受金89百万円、JIが保有する土地(地上建設権)・建物の譲渡契約締結にかかる前受金79百万円が各々増加したことに対して、電子機器用部品事業の事業譲渡に伴い買掛債務1億6百万円、退職給付引当金91百万円、未払費用38百万円が各々減少したことに加えて、短期借入金4億30百万円、長期借入金43百万円が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、11億21百万円の支出となりました。これは主に、遊技機レンタル・割賦販売事業におけるレンタル用資産の取得に伴う支出額4億94百万円(減価償却費差し引き後)が発生したこと、売上債権1億78百万円が減少したことに加えて、電子機器用部品事業において事業譲渡を行ったこと、及びJIにおいて生産活動を終了したことに伴い、大規模な人員減が発生し、退職給付引当金91百万円の取り崩しを行ったことなどによるものであります。

<訂正後>

(2) 財政状態に関する分析

①資産・負債・純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比較して3億20百万円増加して16億22百万円となりました。これは主に、電子機器用部品事業の事業譲渡に伴い仕掛品41百万円、原材料89百万円、機械装置91百万円、工具器具備品66百万円が各々減少したことに加えて、現金及び預金が1億48百万円減少したことに対して、仮払金4億14百万円、レンタル用資産4億94百万円が各々増加したことに加えて、電子機器用部品事業の事業譲渡における譲渡代金にかかる未収入金90百万円が増加したことなどによるものであります。

当連結会計年度末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して5億74百万円減少して4億29百万円となりました。

これは主に、遊技機レンタル事業におけるレンタル代金にかかる前受金89百万円、JIが保有する土地(地上建設権)・建物の譲渡契約締結にかかる前受金79百万円が各々増加したことに対して、電子機器用部品事業の事

業譲渡に伴い買掛債務 1 億 6 百万円、退職給付引当金 91 百万円、未払費用 38 百万円が各々減少したことに加えて、短期借入金 4 億 30 百万円、長期借入金 43 百万円が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、11 億 21 百万円の支出となりました。これは主に、遊技機レンタル事業におけるレンタル用資産の取得に伴う支出額 4 億 94 百万円（減価償却費差し引き後）が発生したこと、売上債権 1 億 78 百万円が減少したことに加えて、電子機器用部品事業において事業譲渡を行ったこと、及びJIにおいて生産活動を終了したことに伴い、大規模な人員減が発生し、退職給付引当金 91 百万円の取り崩しを行ったことなどによるものであります。

5 ページ

<訂正前>

(4) 事業等のリスク

(省略)

②当社グループの事業戦略、事業活動に関するリスク

a. 新規事業に伴うリスク

当社グループは、業績の早期回復と収益力の大幅な向上を実現することを目的として、平成 24 年 1 月に遊技機レンタル・割賦販売事業を開始いたしました。当該事業は販売会社を対象とした中古遊技機の販売に加えて、パチンコホールを対象とした中古遊技機のレンタルを開始するなど、当社を通しての当該事業に対する資金投下、取引形態の多様化も順調に推移しており、今後一段の収益増大を見込んでおります。

このように、当社は、収益基盤の多様化を目的として、グループ企業価値の向上に資する新規事業、あるいはM&Aも視野に入れた投資事業についても積極的に取り組み、当社グループ全体の収益モデルの多様化を図ってまいります。新規事業を計画どおり展開できない場合や競合の状況によっては、当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

c. 債権が貸倒れとなるリスク

当社グループが営む遊技機レンタル・割賦販売事業における商品供給先は、全国のパチンコホールとなります。当該事業の運営主体であるJASは、取引対象先ホールの格付調査などを行い回収リスクの極小化を図っておりますが、何らかの事由によりパチンコホールからの回収が不能あるいは早期回収が困難となった場合は、当社グループの事業、財務状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。

<訂正後>

(4) 事業等のリスク

(省略)

②当社グループの事業戦略、事業活動に関するリスク

a. 新規事業に伴うリスク

当社グループは、業績の早期回復と収益力の大幅な向上を実現することを目的として、平成 24 年 1 月に遊技機レンタル事業を開始することを決定いたしました。

このように、当社は、収益基盤の多様化を目的として、グループ企業価値の向上に資する新規事業、あるいはM&Aも視野に入れた投資事業についても積極的に取り組み、当社グループ全体の収益モデルの多様化を図ってまいります。新規事業を計画どおり展開できない場合や競合の状況によっては、当社グループの業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

c. 債権が貸倒れとなるリスク

当社グループが営む遊技機レンタル事業における商品供給先は、全国のパチンコホールとなります。当該事業の運営主体であるJASは、取引対象先ホールの格付調査などを行い回収リスクの極小化を図っておりますが、何らかの事由によりパチンコホールからの回収が不能あるいは早期回収が困難となった場合は、当社グループの事業、財務状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があります。

7 ページ

<訂正前>

2. 企業集団の状況

(省略)

株式会社ジャルコアミュージメントサービス

パチンコ・パチスロ機器のレンタル・割賦販売を行うとともに、取引対象先ホールの格付や中古遊技台の真正価値を随時調査しております。

(省略)

<訂正後>

2. 企業集団の状況

(省略)

株式会社ジャルコアミュージメントサービス

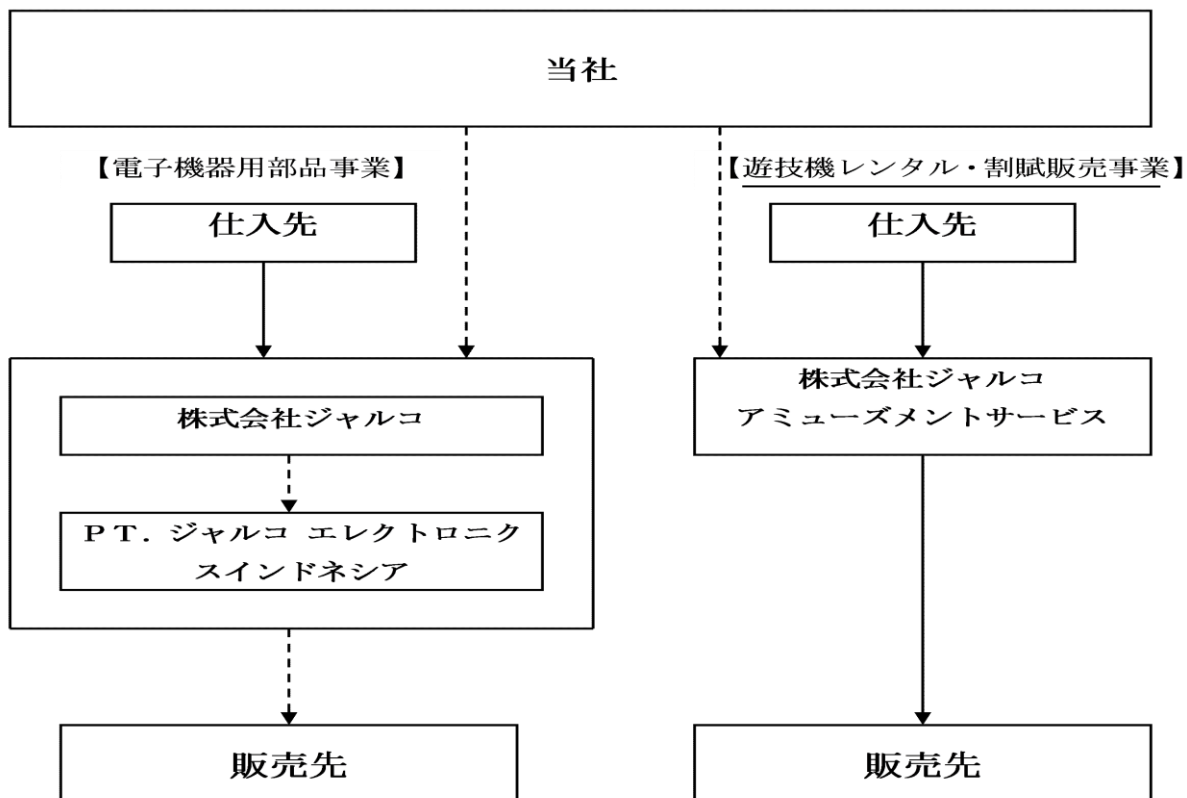
パチンコ・パチスロ機器のレンタルを行うとともに、取引対象先ホールの格付や中古遊技台の真正価値を随時調査しております。

(省略)

8 ページ

<訂正前>

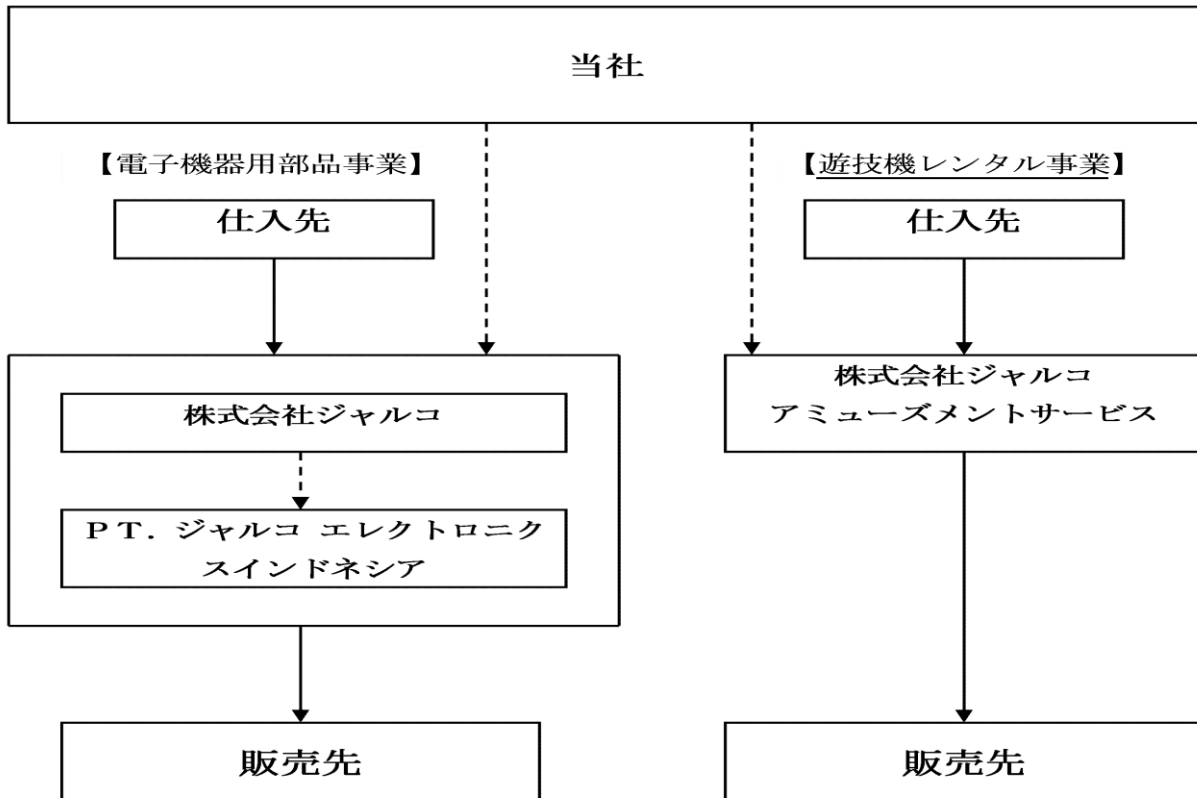
事業の系統図は次のとおりであります。



————▶ 製品、商品の流れを示しております
-----▶ 管理の流れを示しております

<訂正後>

事業の系統図は次のとおりであります。



————▶ 製品、商品の流れを示しております
-----▶ 管理の流れを示しております

9 ページ

3. 経営方針

<訂正前>

(3) 中長期的な会社の経営戦略

(省略)

そこで、当社グループは、当面は、取引における収益性が高く、安定的な需要が見込まれるパチンコホール、及び関連事業者を対象とした事業運営に経営資源を集中させることで、収益力及び経営体質の強化を図ってまいります。具体的には、引き続き、JASにおける遊技機レンタル・割賦販売事業をグループ事業の中核として、事業規模の拡大に重点的に取り組むとともに、ジャルコにおきましても、長年に渡って培ったメーカーとしてのノウハウを活用し、パチンコ・パチスロ機を除くパチンコホール向け設備の販売・設置を行う事業を推進するだけでなく、資金調達、不動産のオフバランス化などパチンコホールが抱える様々なニーズへの対応を可能とすべく事業分野の拡大を図ってまいります。

(省略)

<訂正後>

(3) 中長期的な会社の経営戦略

(省略)

そこで、当社グループは、当面は、取引における収益性が高く、安定的な需要が見込まれるパチンコホール、及び関連事業者を対象とした事業運営に経営資源を集中させることで、収益力及び経営体質の強化を図ってまいります。具体的には、引き続き、JASにおける遊技機レンタル事業をグループ事業の中核として、事業規模の拡大に重点的に取り組むとともに、ジャルコにおきましても、長年に渡って培ったメーカーとしてのノウハウを活用し、パチンコ・パチスロ機を除くパチンコホール向け設備の販売・設置を行う事業を推進するだけでなく、資金調達、不動産のオフバランス化などパチンコホールが抱える様々なニーズへの対応を可能とすべく事業分野の拡大を図ってまいります。

(省略)

4. 連結財務諸表

<訂正前>

(連結貸借対照表関係)

1. 有形固定資産減価償却累計額

前連結会計年度 (平成 24 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 25 年 3 月 31 日)
3,422,455 千円	<u>995,885</u> 千円

<訂正後>

(連結貸借対照表関係)

1. 有形固定資産減価償却累計額

前連結会計年度 (平成 24 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 25 年 3 月 31 日)
3,422,455 千円	<u>903,653</u> 千円

<訂正前>

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、意思決定機関において、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にパチンコ・パチスロ機器のレンタル・割賦販売を行うとともに、取引先対象ホールの格付けや中古遊技台の真性価値の調査を行う遊技機レンタル・割賦販売事業と主に電子機器用部品を製造・販売する電子機器用部品事業を展開しております。

当連結会計年度から、遊技機レンタル・割賦販売事業の取り扱い高が増加したことに伴って、経営管理の実態を適正に表示するため、従来の所在地別セグメントに変えて事業別セグメントを報告セグメントとして変更しております。

その結果、当連結会計年度より、「遊技機レンタル・割賦販売事業」、「電子機器用部品事業」の2つを報告セグメントといたしました。

なお、前連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額(注)1	連結
	電子機器用 部品事業	<u>遊技機レンタル・ 割賦販売事業</u>		
外部売上	1,884,150	0	—	1,884,150
セグメント間の売上	—	—	—	—
計	1,884,150	0	—	1,884,150
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△467,605	△1,397	△71,764	△540,766
セグメント資産	967,253	84,338	250,570	1,302,144
その他の項目				
減価償却費	130,753	—	—	130,753
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	36,744	—	39,348	76,092

(省略)

当連結会計年度（自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	報告セグメント		調整額(注) 1	連結
	電子機器用 部品事業	遊技機レンタル・ 割賦販売事業		
外部売上	492,130	298,587	—	790,717
セグメント間の売上	—	—	—	—
計	492,130	298,587	—	790,717
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△148,084	52,210	△150,547	△246,421
セグメント資産	434,799	1,052,594	135,473	1,622,867
その他の項目				
減価償却費	41,262	234,115	505	275,882
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,880	728,445	4,316	734,642

（省略）

<訂正後>

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、意思決定機関において、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にパチンコ・パチスロ機器のレンタルを行うとともに、取引先対象ホールの格付けや中古遊技台の真性価値の調査を行う遊技機レンタル事業と主に電子機器用部品を製造・販売する電子機器用部品事業を展開しております。

当連結会計年度から、遊技機レンタル事業の取り扱い高が増加したことに伴って、経営管理の実態を適正に表示するため、従来の所在地別セグメントに変えて事業別セグメントを報告セグメントとして変更しております。

その結果、当連結会計年度より、「遊技機レンタル事業」、「電子機器用部品事業」の2つを報告セグメントといたしました。

なお、前連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日) (単位：千円)

	報告セグメント		調整額(注) 1	連結
	電子機器用 部品事業	<u>遊技機レンタル 事業</u>		
外部売上	1,884,150	0	—	1,884,150
セグメント間の売上	—	—	—	—
計	1,884,150	0	—	1,884,150
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△467,605	△1,397	△71,764	△540,766
セグメント資産	967,253	84,338	250,570	1,302,144
その他の項目				
減価償却費	130,753	—	—	130,753
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	36,744	—	39,348	76,092

(省略)

当連結会計年度（自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	報告セグメント		調整額(注) 1	連結
	電子機器用 部品事業	<u>遊技機レンタル</u> 事業		
外部売上	492,130	298,587	—	790,717
セグメント間の売上	—	—	—	—
計	492,130	298,587	—	790,717
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△148,084	52,210	△150,547	△246,421
セグメント資産	434,799	1,052,594	135,473	1,622,867
その他の項目				
減価償却費	41,262	234,115	505	275,882
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,880	728,445	4,316	734,642

（省略）